

ねやがわ

令和3年(2021年)5月1日号

No.240

議会だより



寝屋川公園内 竹の小径 (寝屋川市写真協会提供)

誌面のご案内

定例会のあらまし	1・2
令和3年3月臨時会	3
代表質問	
ねやがわ未来議員団	4～6
公明党市会議員団	7・8
大阪維新の会議員団	9
日本共産党市会議員団	10
議決結果一覧	11

3月定例会を開催

- ・市政運営方針に対して
会派代表4人が質問

令和3年3月定例会

寝屋川市議会は、2月25日から3月22日までの26日間にわたり、令和3年3月定例会を開催しました。

市長から27件の議案が提出され、令和3年度寝屋川市一般会計予算を除く26件を原案どおり決しました。(※)その他の議案及び議員が提案した意見書1件については、3月22日にそれぞれ原案どおり可決しました。

また、市長市政運営方針に対する代表質問を行い、会派を代表して4人の議員が質問しました。

令和3年度当初予算を可決！ 総額1,625億5,900万円

令和3年度当初予算は、3月25日3月市議会臨時会において、原案可決されました。

一般会計	908億4,000万円
特別会計	
国民健康保険	265億1,500万円
介護保険	223億 800万円
後期高齢者医療	38億7,100万円
公共用地先行取得事業	1億 100万円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	3,600万円
公営企業会計	
水道事業	59億7,200万円
下水道事業	129億1,600万円

※令和3年度寝屋川市一般会計予算については、3月22日に修正可決しました。定例会閉会后、市長から再議書が議長に提出され、3月25日の臨時会において、再議にもとづく審議を行った結果、原案可決しました。(詳細は3ページ参照)

議案の概要

国民健康保険条例の一部改正

「大阪府国民健康保険運営方針」(令和3年度から令和5年度まで)を踏まえた国民健康保険の事務の実施に関わる規定の整備を行うとともに、「国民健康保険法施行令」の改正に伴い、保険料の軽減に係る所得判定基準を改める等のため、本条例の一部を改正するものです。

介護保険条例の一部改正

介護保険の保険料率の改定等を行うとともに、所得の低い第1号被保険者の保険料の減額に係る保険料率を定める等のため、本条例の一部を改正するものです。

後期高齢者医療に関する条例の一部改正

延滞税等の割合について定める「租税特別措置法」の規定の改正に伴い、後期高齢者医療の保険料に係る延滞金の利率に関する規程の整理を行うため、本条例の一部を改正するものです。

一般会計補正予算(第13号)

令和2年度一般会計補正予算(第13号)は、9億4948万8000円を増額するもので主な内容は次のとおりです。

○新型コロナウイルスワクチン接種

体制確保事業に係る経費の追加

〔2億2422万7000円〕

○新型コロナウイルスワクチン接種事業

〔7億3319万4000円〕

○市立小・中学校衛生用品等購入経費の追加

〔4480万円〕

これにより、令和2年度一般会計予算歳入歳出の総額は、1237億7310万1000円となりました。

一般会計当初予算

令和3年度一般会計当初予算は、908億4000万円です。

主な内容は次のとおりです。

○市制施行70周年記念式典

〔174万円〕

市制施行70周年を祝するとともに、市政運営に協力いただいた関係各位に感謝の意を表するため、記念式典を実施するものです。

○市民サービスのターミナル化の推進

〔128万7000円〕

市民サービスの提供を公共交通機関の結節点である駅周辺に集約する市民サービスのターミナル化を推進するため、寝屋川市駅前における施設の取得に向けた取組を行うものです。

○(仮称)防災備蓄センターの維持管理

〔188万円〕

(仮称)防災備蓄センターにおいて、避難所での新型コロナウイルス等の感染症対策として活用する備蓄品

(衛生管理用品や避難所運営物品)を適切に保管・管理するものです。

○「(仮称) いじめ問題シンポジウム」等開催事業

〔363万2000円〕

未就学時から高齢者まで幅広い世代が「いじめ」を始めとしたあらゆる人権問題や平和について正しい理解と認識を深めるため「いじめ問題シンポジウム」等開催事業を実施し、全ての人が安心して平和に暮らせる人権尊重のまちづくりを推進するものです。

○自動通話録音装置の貸与

〔221万3000円〕

特殊詐欺被害を減らすため、寝屋川警察署等と連携し、寝屋川警察署又は消費生活センターに特殊詐欺に関する相談をしたことがある世帯を対象に、自動通話録音装置を貸与するものです。

○各種手続等デジタル化の推進

〔1687万6000円〕

証明書交付手数料自動精算機にクラウド・電子マネー等の決済機能の追加導入やオンライン相談など、各種手続等のデジタル化を推進し、「時間と距離の短縮」に努め、更なる窓口サービスの充実を図るものです。

○旧焼却施設解体工事

〔5億7226万8000円〕

再資源化を促進するための施設である、資源物等ストックヤードの整備

備に向け、旧焼却施設の解体工事を進めるとともに、ストックヤードの整備工事を行うものです。

○各種がん検診の推進

〔1億5411万1000円〕

がんの早期発見・早期治療を図るため、各種がん検診等を実施するとともに、個別受診勧奨の実施、無料クーポン券等の配布により、がん検診受診率の向上を図るものです。

○濃厚接触となった高齢者・障害者の施設受入事業

〔532万3000円〕

介護者の感染等により、高齢者・障害者が一時的に施設へ入所する必要がある場合の受け入れ体制を構築するものです。

○おたふくかぜワクチン接種

〔275万2000円〕

おたふくかぜの感染を予防するため、1歳から就学前までの子どもに對して、おたふくかぜワクチンの接種費用を助成し、保護者の経済的負担の軽減と年少児の健康増進を図るものです。

○「(仮称) With Books 事業 (HOPステージ)」

〔1506万5000円〕

就学前教育の充実を図るため、乳幼児に絵本を贈り、子どもの成長の土台として、子どもと親の愛着形成を促進することにより、「寝屋川方

式」の教育につなげるものです。

○2軸化事業の推進

〔7776万7000円〕

JR学研都市線及び京阪本線の2軸の沿線が互いに成長し、寝屋川市全域が継続的に発展するためのまちづくりを進める「2軸化構想」の実現に向け、寝屋二丁目・寝屋川公園地区のまちづくり等を進めるものです。

○バス利用促進事業

〔3320万8000円〕

シルバー世代等の公共交通の利用促進を図るため、バス利用券を製作し、配布するものです。

○商品券等発行事業支援

〔6617万3000円〕

商品券等発行事業(プレミアム付商品券・寝屋川「あきんど」初夢くじ)を支援し、市内での消費拡大と商店街等の活性化を図るものです。

○打上川治水緑地パークマネジメン

トの推進〔1318万5000円〕

打上川治水緑地のより一層の活用を図り、本市の魅力を高める資源としての質を向上させ、集客力を更に高めるため、パークマネジメントプランの策定等を行うものです。

○小中一貫校の設置

〔10億9483万8000円〕

第四中学校区への施設一体型小中一貫校の設置に向けた取組を推進す

るものです。

○「(仮称) 新中央図書館の設置

〔7億3050万4000円〕

気軽に読書に親しむ文化活動の拠点として、市民の利便性が高い寝屋川市駅前アドバンスねやがわ1号館4階に「(仮称) 新中央図書館を設置するとともに、新たな図書館網の中核として図書の流通を推進するものです。



(仮称) 新中央図書館のイメージイラスト

意見書

3月定例会で可決し、内閣総理大臣を始め、関係大臣等に送付した意見書は、次のとおりです。

◆オンライン投票の環境整備を求める意見書

令和3年3月臨時会を開催

窓口専門職員の 人件費等を減額する 修正可決に対する再議※

令和3年3月定例会の最終日（3月22日）に修正可決した「令和3年度寝屋川市一般会計予算」について、再議に付されたため、令和3年3月臨時会で審議することになりました。

再議による審議の結果、修正可決の賛成者が3分の2に満たず否決となりました。その結果、先に可決された修正予算は白紙となり、原案を審議することになりました。原案に対して議員8人から再度、修正案が出されましたが否決となり、原案が可決されました。

なお、原案の可決に際し、予算執行に対する要望を求める附帯決議案が議員13人から提出され、可決されました。

一般会計予算案の審議経過

原案を審議

修正案（1回目）の提出

修正可決

市長から
再議書提出

再 議

再議理由を審議

採決（3分の2未満）
修正可決は白紙に

原案を審議

修正案（2回目）の提出

修正案否決

原案を審議

原案可決

附帯決議可決

修正案（1回目）の概要

窓口専門職員（会計年度任用職員）17人分の人件費等、8240万9900円を減額するものです。

修正案（2回目）の概要

令和3年度に正規職員に登用予定の窓口専門職員（会計年度任用職員）8人分の人件費等、3768万6000円を減額するものです。

附帯決議の概要

○子どもの教育環境整備、公共施設整備の適正化を図る観点から、第28次校区問題審議会を早期に実施する

ことを求めるものです。

○窓口専門職員の人件費等を削減する修正案については、寝屋川市議会の過半数を超える意思であり、このことを重く受け止め、事務執行については留意することを求めるものです。

※再議とは

市長が、議会の議決に対して異議があるときに、理由を示して議会に審議のやり直しを求めることです。

予算案の再議に付された議決は、過半数ではなく、議長も含めた出席議員の3分の2以上が、その議決結果に賛成した場合に確定します。

市長市政運営方針に対する 代表質問のあらまし

ねやがわ未来議員団

将来を見据えた自治経営

いま真に、必要な施策を着実に！

井川 晃一	金子 英生	北川 健治	北川 光昭	西尾 勝成	馬場 才	板東 敬治	久野 須賀子	山崎 菊雄	吉羽 美華
-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	--------	-------	-------

予算編成の考え方

問 「選択と集中に徹した予算編成」と述べられた一方、大きな見直し事業がなかったとのことだが、新規事業を実施するための、経常経費の抑制に向けた具体的事項は。

答 新規事業のランニングコストは増加するが、継続事業の断捨離を進めるとともにAIやRPAなどのICTを積極的に導入し業務の効率化等に取り組み、経常経費を含めた全体経費の抑制を図っていく。

市税収入の減少と算定額

問 新型コロナウイルス感染症の影響による市税収入の減少の算定額と市税予算額の根拠については。

答 減少額は対前年度、約8億8千万円。うちコロナウイルス感染症の影響額は7億4千万円と見込む。予算額については、各税目において、税制改正、納税義務者数及び決算額推移、国民総所得等の経済指標などを勘案し、積算している。

臨時財政対策債の考え方

問 臨時財政対策債の令和2年度の予算額は28億8千万円に対して、実際の発行予定額は、令和3年度予算額が40億円になっているが発行抑制の考え方が変更となったのか。

答 発行に対する考え方に変更はない。市にとって有利かつ効果的な発行方法を検討していく。令和2年度の発行額は決算見込みでの収支の状況等を踏まえ判断する。

広域での新型コロナウイルス対策

問 感染症拡大防止対策として、北河内各市と隣接しているからこそ、近隣市と目線を合わせる施策の提案は。

答 疫学的観点での調査等は広域での取組が基本であり、これまでも保健所を設置する近隣市と大阪府とも連携し対策を進めてきた。一方、市民の不安に寄り添う施策は各市において市民生活や地域経済の実情に応じた対策が進められている。

本市独自の規制対象の有効性

問 他市よりも厳しい独自規制を設ける中、年末年始の感染者急増は府内でも顕著だった。本市独自の規制対象の有効性は。

答 市役所、公共施設、市立学校園等に加え、市民や各種団体に対し、行動に関する規制等を詳細に示し、御協力をいただくことで感染拡大が抑えられていると認識している。感染者の急増は、高齢者施設でのクラスター発生が大きいと認識しており、施設にはガイドラインを示し、衛生用品等を適切に配布することで、市としては最大限の対応を行ったものと認識している。

「コロナ禍での生活困窮者の対応

問 コロナ禍での生活困窮者の把握は。また、体制充実を図ったことは。

答 例えば、令和3年1月末時点において、特例貸付3486件、住居確保給付金157件、生活保護新規申請472件。相談の充実面で社会福祉協議会の相談支援員1名を増員。

ワクチンの接種体制

問 特別定額給付金では事務過誤があり、今回のワクチン接種事務の体制にも不安がある。見解は。

答 令和3年2月8日、ワクチン接種事業実施本部を設置し、本部長を定め、組織的に迅速かつ的確に行うため、市全体で取り組む体制を構築した。本部員それぞれが役割を理解し事務を推進すると認識している。

**令和5年度開校の
小中一貫校の建設費用**

問 当初予算にて建設工事費81億6171万円、業務委託料2億4530万円が示されたが、総コストは。

答 校舎棟建設工事費と外構工事費で総額約84億7千万円。その他に、既存校舎解体工事費、学校設備備品等があるが、実施設計にて算出中。

問 建築単価が近隣市の類似事例と比較し10～15億円程度高額となるがその合理性は。

答 総事業費については昨今の労務単価や建築資材の値上がりの影響を受けていると認識する。

**小中一貫校の設計変更と
住民理解**

問 地域交流スペースの新設、体育館・多目的スペースの配置転換、給食施設の新設置など基本設計が大幅に変更。説明責任は果たしているか。

答 校区の地域協働協議会や3校のPTAと相談し、必要に応じて説明や御意見等頂く場を設けている。

校区問題審議会の早急な開催を

問 第四中学校校区小中一貫校に多額の投資を行う前に、本市の学校施設全体の整備合理化を図るため、早期に校区問題審議会を開催すべきである。一校当たりの児童生徒数が減少する中、市内どこに住んでも高水準化した教育を受けられる環境整備を目指す、令和3年度に開催を

要望するが見解は。

答 第27次校区問題審議会答申における大きな最後の取組事項である、第四中学校小中一貫校の整備状況を見極め開催時期については検討する。

市内の新規ポテンシャルエリア

問 令和2年3月議会にて新規ポテンシャルエリアの開発にて想定として3200戸の子育て世代の転入に伴う税収増見込みは約20億円を想定と示された。当エリアへの市外からと市内からの転居戸数の内訳は。

答 住宅開発が可能なエリアを全て戸建て住宅とし、全て市外からの転入を想定した仮試算になる。

問 試算条件での税支出額（公共施設・インフラ整備等の基準財政需要額相当など）は。

答 民間開発を誘導していくことを考えており、現時点で個別算出は困難である。事業実施の段階で個別に示していく。

萱島地区事業者誘致事業

問 萱島地区に特化して行う理由は。

答 萱島駅周辺は他市と隣接した地にあり、従前から人の流れによる商業が盛んな地域。大学や鉄道施設があり産業振興の観点から地域の魅力を顕在化させ、市内商業及び地域の活性化を図るため。

問 事業の成果指標は。

答 事業者の誘致件数もさることながら、新たな人の流れ、商いの流れが生み出されることが目指す成果と

考えている。



萱島駅の風景

**「乗合い事業」と
「バス利用促進事業」**

問 「乗合いワゴン事業」が「乗合い事業」と「バス利用促進事業」へと事業転換予定だが、前者の検証及び、転換後の費用対効果と予算スケール上の位置付けは。

答 乗合いワゴン事業は実証実験として実施したものであり、今後、乗合い事業として、残る交通空白地について事業拡大していく中で、費用対効果を重要な視点とし、改善を重ね検証していく。予算スケールは、交通不便地域での買い物や外出困難なシルバー世代等への施策であり、福祉的予算としている。

**市民サービスのターミナル化と
大阪電気通信大学駅前キャンパス
取得（案）の発表**

問 公共施設の再配置・集約化等が具現化される中の発表であり、自治

体DXや市駅構内のステイステーション機能との整合性も含め、コンパクトで機能的な庁舎実現を目標とすべきと考えるが、見解は。

答 駅前庁舎への配置組織検討案については、利用者が多い行政サービスを配置し、図書館等との連携により、子育て支援機能の強化をも意識して検討したものである。今後、デジタル技術の活用等により、行政のダウンサイジングの状況を踏まえ更なる行政サービスの集約化を図ることを考えている。

問 令和3年度予算に同建物の不動産鑑定費用が計上された。一方、2月に「取得と改修の費用18億7千万円を見込む」との新聞報道があった。不動産鑑定前でのマスメディアへの報道提供の経過は。

答 報道提供については、市民サービスの「ターミナル化」推進計画の内容をもとに、当初予算案として提供したもので、金額については、不動産鑑定手数料の積算根拠等として示すことを目的に試算したものである。

問 取得価格は約17億円とのことだが、オーダーメイドではなく、既存建物を購入すると考えた場合、周辺相場などから、きわめて割高と考えるが見解は。

答 取得価格は不動産鑑定額に基づき取得することが基本と認識している。

**ターミナル化での
シャトルバスの在り方**

問 （仮称）新中央図書館の開館も

予定されているが、公共施設へのシャトルバスの市民ニーズへの対応は。

答 シャトルバスの在り方については市民サービスのターミナル化の推進に合わせて検討する。

プレミアム付き商品券事業

問 本事業は市制70周年の記念事業となっている。発行規模や販売方法などは。

答 事業主体である商業団体連合会において、発行数は6万冊、市民を対象とし、予約販売などのコロナ対策や利用店舗の拡充等を検討し、今後公表予定と聞いている。

防災体制の整備・強化

問 「防災活動の効果的な実施に資する」ハザードマップの更新として、改善点は。

答 新たに12河川の浸水想定区域図を追加。QRコードを掲載し、スマートフォン等でも閲覧できるよう市民の利便性の向上を図る。

問 デジタル格差解消の最重要は災害時。情報伝達チャネルについて現状課題と多様化の具体策は。

答 課題はスマートフォン等を持たれていない高齢者等への情報伝達であり、多様化策として、例えば、防災行政無線の発信方法を工夫するなど情報提供の在り方を検討する。

密集住宅地区の整備

問 密集住宅地区内における主要生活道路の整備に関し、土地・家屋購

入時の残地に対する考え方は。

答 残地が狭小な場合や自治会等が広場又は緑地として整備及び管理を行う場合は取得する方針。

打上川治水緑地の整備

問 アンケート調査で一番二番の遊具、水遊びの検討は。

答 令和3年度は、パークマネジメントプランを策定していく中で支障とならない、調査結果でも上位のバーベキュー広場等の整備を予定。



打上川治水緑地公園の風景

古川雨水幹線バイパス管工事等浸水対策

問 古川雨水幹線管工事のスケジュールは。

答 設計業務の入札不調や発進立坑の詳細検討に時間を要したことからの工事完成時期は令和7年度となる。

問 浸水対策事業の市民への周知は。

答 沿線自治会や住民に対し事業の

必要性や効果などの周知を図り、高宮ポンプ場の完成後には、施設見学会を行うなど、2大浸水対策事業の進捗に合わせ効果的な啓発に努める。

ひきこもりの方への支援

問 ひきこもりの方へのアウトリーチ型支援について積極的な施策を求めるが見解は。

答 コロナ禍の状況も踏まえ、機を逸することなく積極的な支援を実施する。

行政サービスと接客のプロ

問 AI・RPAの活用、行政手続オンライン化を軸とする自治体DXの推進や、寝屋川市駅前へのコンパクトで機能的な新庁舎の構築は、最重要課題。その中で「接客のプロ」の必要性、正規職員化は、人員配置や窓口業務の固定化につながり容認できない。撤回を求めるが、見解は。

答 窓口専門職員の必要性は、接遇能力の高い職員によるワンストップ化を実現することを目的に窓口サービス改革を進めているもの。窓口専門職員の正規職員への登用については、オーディションにて接遇能力の高い方を採用し、その能力の実践及び、新規採用1年目の職員と同等以上の業務レベルに達していることを要件とし、知識・経験の向上が継続的に見える人材が必要であることから、正規職員への登用は不可欠である。

1月臨時会を開催

～新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に係る補正予算等を可決～

令和3年1月28日（木）に1月臨時会を開催し、新型コロナウイルスワクチン接種のために必要な体制を事前に整備することを目的とする「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業」に係る補正予算を審議し、可決しました。

また、（仮称）新中央図書館に関する工事請負契約の締結、財産の取得の2議案を可決しました。



公明党市会議員団**ポストコロナを見据え、
新たな局面への挑戦！**

村上	池添	岡	高見	辻谷	野々下
順一	義春	由美	雄介	恵一	重夫

新型コロナウイルスについて

問 ワクチン接種についてエッセンシャルワーカーへの優先接種について見解を問う。

答 今後のワクチンの供給量等の状況及び国の手引きも踏まえ対応する。

基礎疾患の証明について

問 基礎疾患を証明するものが無い場合がある。ワクチン接種の際、判断に困らないような対策が必要となるが見解を問う。

答 基礎疾患者については、予診票への自己申告とされていることから、周知媒体に具体的な病名を記載する等、周知に努めていく。

**接種手続等に関する
相談対応等について**

問 接種手続等に関する相談対応、健康被害救済の申請受付について見解を問う。

答 手続等に関する相談については、3月15日に開設予定のコールセンターにおいて一般相談対応を、健康被害相談等については、新型コロナウイルス感染症対策室で対応する。

介護施設の感染症対策について

問 介護施設の感染症対策について見解を問う。

答 市独自のガイドライン及び感染対策チェックシートを作成し、高齢者・障がい者施設に配付した。その後、施設が記入したチェックシートを確認し、感染対策の強化を指導した。



新型コロナウイルスワクチン接種
集団接種訓練の風景

感染防止策について

問 光触媒「ナノゾーンコート」は永続的抗菌コーティングで、新型コロナウイルスやインフルエンザ、ノロウイルス等に効果を発揮する実証済の施工であるが、見解を問う。

答 抗菌効果があるものと認識す

る。費用対効果等の検証を行い、公共施設等における新型コロナウイルス感染症防止対策の一つとして、整理・研究する。

**エッセンシャルワーカーへの
PCR検査について**

問 エッセンシャルワーカーへの優先的なPCR検査が必要と考えるが見解を問う。

答 現行の検査効果を検証するとともに、今後の感染状況を踏まえ検討する。

子育て応援クーポンについて

問 子育て応援クーポンが廃止となった。今回の措置により子育て世代への支援策の一角が崩れ落ちた気がするが見解を問う。

答 子育てリフレッシュ館の開館に合わせ、本市の子育てサービスを周知するという当初目的は達成されたものと考えている。利用の多かった予防接種は、おたふくかぜワクチン予防接種を新事業として実施し、就学前教育につなげる（仮称）With Books事業も実施することとした。今後もニーズを的確に捉え、施策・事業を実施していく。

子ども虐待防止について

問 子ども虐待防止についての人的配置は万全か、見解を問う。

答 子ども家庭総合支援拠点事業における、国の配置基準を超えた人員を配置している。

教職員にセクハラを受けた児童生徒から声を拾う取組について

問 教職員にセクハラを受けた児童・生徒から声を拾う取組について見解を問う。

答 重大な人権侵害として、「攻めの情報収集」により相談や通報を促す取組を一層進めていく。また、子どもへの心理的負担を少なくする「司法面接」などの手法を取り入れることを検討している。

交通不便地域解消について

問 本市には11地域の交通不便地域があり、その解消が急務であるが今後の方針を問う。

答 11地域のうち残る8地域（乗合い事業の無い）について、利用者等の意見を取り入れ、順次導入を目指す。

**自転車安全運転の
意識啓発について**

問 自転車安全運転のためのルール徹底や安全運転啓発、指導について見解を問う。

答 自転車安全利用講習会などにおいて、周知・啓発を行っているが、更なる啓発について警察と協力し積極的に取り組んでいく。

防災について

問 地区防災計画について見解を問う。

答 各地域の実情を踏まえ、日本防災士会大阪府支部等と連携を図りながら、作成を支援していく。

空き家対策について

問 今後の施策展開について問う。

答 特定空き家等に対しては、略式代執行の実施など、法及び条例に基づく指導を引き続き実施し、対策を推進していく。

寝屋川版マイナポイントについて

問 寝屋川独自のポイント事業について見解を問う。

答 キャッシュレス決済の導入推進やマイナンバーカードの普及促進は重要な取組となることから、調査・研究していく。

避難所の公衆無線LANについて

問 避難所の公衆無線LANは災害時の生命線であるが見解を問う。

答 スマートフォン等の普及に伴い、有効な通信手段であると認識しており、対応を検討していく。

若年層へのがん検診推進について

問 若い世代へのがん検診の推進について見解を問う。

答 目的・ビジュアルなどを強く意識した、若年層への訴求力の高い受診勧奨を検討していく。

多胎児支援について

問 負担の大きい多胎児ママやパパへの支援策について見解を問う。

答 育児中の声を聞き、ニーズを反映する。「MY CITY 助産師」

等が寄り添った支援を行うことで、負担感の軽減等を図っていく。

ヤングケアラーの掌握について

問 子どもでありながら、介護やきょうだいの世話を担うヤングケアラーの掌握について見解を問う。

答 全教職員が日頃から子どもの状況を注視するとともにスクールソーシャルワーカー等の専門家とも連携し、状況の把握を行っている。

共通投票所について

問 投票不便地域解消に共通投票所の設置を求めるが見解を問う。

答 選挙管理委員会として、投票環境の向上につながるものであると認識しており、二重投票防止措置などを含め調査研究を進めている。

(仮称)新中央図書館でのネット環境について

問 (仮称)新中央図書館に公衆無線LANの整備を求めるが見解を問う。

答 新しい図書館機能として公衆無線LANを整備する予定である。

SDGsの取組について

問 誰一人として取り残さないSDGsの取組をコロナ禍で進めていく必要があると考えるが見解を問う。

答 第六次総合計画で積極的に推進することとしており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえ、より意識を高めて取り組んでいく必要があると考えている。

◆ 全員協議会を開催 ◆

～パブリック・コメント手続実施案件等について～

令和3年1月18日(月)・25日(月)及び2月22日(月)に全員協議会を開催し、それぞれ以下の内容について説明を受けました。

1月18日(月)

- 寝屋川市公共施設等総合管理計画 個別計画(アクションプラン)(素案)
- 寝屋川市第四中学校区小中一貫校施設整備事業

1月25日(月)

- 第4次寝屋川市地域福祉計画(素案)
- 寝屋川市高齢者保健福祉計画(2021～2023)(素案)
- 寝屋川市障害福祉計画(第6期計画)及び寝屋川市障害児福祉計画(第2期計画)(素案)

2月22日(月)

- 市民サービスの「ターミナル化」推進計画



大阪維新の会議員団

新たな時代へ 市民と共に

中川 健
奥 大輔
中谷 剣将
福田 篤志

新型コロナウイルスについて

問 本市が実施した新型コロナウイルス感染症に伴う緊急支援パッケージの総括を伺う。

答 第1弾では感染拡大防止対策に加え、特に影響を受けている「子育て世帯」「市内事業者」等への支援、第2弾では市民生活に与える影響拡大への対応、第3弾では「新たな日常生活」確立に向けた支援を行った。市民から喜びの声が寄せられるなど、一定の評価をいただいたと考える。

問 平成31年4月の中核市への移行に伴い保健所が設置された。コロナ対応において保健所設置市だからこそ得られた成果と課題を伺う。

答 迅速かつ詳細な情報収集が可能となったことや保健所を含めた市内連携による積極的な対応ができた。一方、業務量が大きく増減することから人員の増減対応が必要となる。

選ばれるまちについて

問 現在は「選ばれるまち」に成り得ているか所感を伺う。

答 不動産流通ウェブサイト「買って住みたい街ランキング」において香里園駅・寝屋川市駅共にランクが上がり

ていることから本市の取組が注目され始め、「選ばれるまち」の実現に向けて着実に前進していると考える。

問 広瀬市政へ移行後メディアを積極的に活用した広報戦略については素晴らしい大変評価ができる。これらの広報戦略は現状として本市にどのような影響を与えているか。

答 対外的訴求力のある施策が多数のメディアで掲載・放送され、効果額は昨年度以降、現時点で5億8000万円を超え客観的に評価されていると認識している。本市の広報戦略は社会課題を解決し新たな価値を創出する政策創造にまで踏み込んだものとする必要があると考える。

ターミナル化構想について

問 今回示されたターミナル化構想は市内全ての駅が対象となるのか、また集約化についてはどこまでの施設を想定しているのか。

答 対象については寝屋川市駅周辺での集約を想定しているが、今後の施設ニーズの変化等を踏まえ検討する。施設の集約化に関しては利用者数が多い行政サービスの集約化及び総合センター機能の再構築を優先し、施設ニーズ等を踏まえ更に検討を進める。

子育て教育について

問 現在実施されているイベント教育において現段階でどのような成果と課題があるのか見解を伺う。

答 教員からは、「論理的に文章を構成する力等の向上が見られた」「児童生徒からは、「積極的に発言できるようになった」などの声がありコミュニケーション能力が高まっている。課題としては、論題の設定の質を高めることや効果的な資料活用の推進が必要である。教員の取組については学校を超えて教員間での実践を交流し、学び合う等着実に取組が進んでいるところである。

問 寝屋川教育において重要なのは家庭での学習習慣や地域との関わりと考える。どのように家庭や地域を巻き込んでいくのか見解を伺う。

答 家庭や地域社会の様々な人材の活用や日常の見守り活動等、学校・家



ターミナル化の中心となる寝屋川市駅周辺

庭・地域と連携した教育に取り組んでいる。学習習慣の形成には家庭における協力が不可欠であり、寝屋川スタンダードで示す家庭学習や生活習慣の手引をもとに、学校・家庭・地域がそれぞれの役割や目標を共有し、子どもたちを育てていく。

問 学校給食の公会計化を前提としパン・牛乳の在り方、仕入れ先などの見直しを含め教育の一環として学校給食を根底から見直す必要があると考えるが見解を伺う。

答 拡大親子方式へ移行するとともに、給食費の公会計化をもとに牛乳等献立の在り方、食材の仕入れ等、学校給食全般の充実を図り、更に安全でおいしい給食を目指す。

商業活性について

問 商品券事業において20%のプレミアム率は大いに評価できる。今回市制施行70周年事業として商品券事業に取り組み意味を伺う。

答 市制施行70周年の感謝と喜びを市民の皆様と共有する取組の一つとして、また、消費拡大と商店街等の活性化を図るため商業団体連合会による商品券事業を支援する。

問 これからの商業活性施策をどのように展開するのか展望を伺う。

答 2軸化構想のまちづくりを始め、ふるさと納税など多様な観点から施策間の連動を図り、市民の満足度と市の魅力につながる取組を推進し、市内外からの人の流れを創出する。



3月定例会 議決結果一覧



議案番号	件 名	議決結果
議案第4号	令和2年度寝屋川市一般会計補正予算（第13号）	可 決
議案第5号	令和2年度寝屋川市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	可 決
議案第6号	令和2年度寝屋川市水道事業会計補正予算（第3号）	可 決
議案第7号	令和2年度寝屋川市下水道事業会計補正予算（第3号）	可 決
議案第8号	工事請負契約の変更	可 決
議案第9号	寝屋川市執行機関の附属機関に関する条例の一部改正	可 決
議案第10号	寝屋川市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例及び寝屋川市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正	可 決
議案第11号	寝屋川市立総合福祉センター条例の廃止	可 決
議案第12号	寝屋川市立児童デイサービスセンター条例の制定	可 決
議案第13号	寝屋川市国民健康保険条例の一部改正	可 決
議案第14号	寝屋川市介護保険条例の一部改正	可 決
議案第15号	寝屋川市後期高齢者医療に関する条例の一部改正	可 決
議案第16号	寝屋川市保健所事務手数料条例の一部改正	可 決
議案第17号	寝屋川市建築基準法施行条例の一部改正	可 決
議案第18号	寝屋川市手数料条例の一部改正	可 決
議案第19号	寝屋川市立公民館条例の廃止	可 決
議案第20号	令和3年度寝屋川市一般会計予算	修正可決※
議案第21号	令和3年度寝屋川市国民健康保険特別会計予算	可 決
議案第22号	令和3年度寝屋川市介護保険特別会計予算	可 決
議案第23号	令和3年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
議案第24号	令和3年度寝屋川市公共用地先行取得事業特別会計予算	可 決
議案第25号	令和3年度寝屋川市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算	可 決
議案第26号	令和3年度寝屋川市水道事業会計予算	可 決
議案第27号	令和3年度寝屋川市下水道事業会計予算	可 決
議案第28号	包括外部監査契約の締結	可 決
議案第29号	市道の廃止	可 決
議案第30号	市道の認定	可 決
議員提案第1号	オンライン投票の環境整備を求める意見書	可 決

※議案第20号 令和3年度寝屋川市一般会計予算については、3月22日に修正可決されました。定例会閉会后、市長から再議書が議長に提出され、3月25日の臨時会において、再議に基づく審議を行った結果、原案可決されました。（詳細は3ページ参照）

○議案内容・議決結果は、市議会ホームページから御覧いただけます。

市議会開催のお知らせ

次の市議会の開催は、5月臨時会（5月12日・14日）を予定しています。この臨時会では、主に令和3年度の議会の役員改選が行われます。

臨時会の会期中は、新たな役員の協議が整い次第、随時、会議を開くことになります。

また、6月定例会の日程は、「広報ねやがわ6月号」と市議会ホームページでお知らせします。

本会議を録画配信しています！

市議会で開かれる本会議の様子は、インターネットで録画配信しています。市議会ホームページの「本会議録画配信」から視聴できます。議会だよりの誌面では、お伝えできなかった議案の審議や代表質問の様子を御覧いただけます。



スマホ版サイト